

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ホームページアドレス http://www.honyakuctr.com ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ スタンダード
証券コード	2483

- ・住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

見通しに関する注意事項

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。

ホームページのご案内
<http://www.honyakuctr.com>



トップページ IR情報ページ

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。

詳しくは ▶▶▶



株式会社 翻訳センター

お問合せ先

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号
Tel: 06-6282-5010
e-mail: info@honyakuctr.co.jp



第26期 期末のご報告

2011年4月1日～2012年3月31日



翻訳サービスの高付加価値化と周辺業務の強化を図り、 翻訳業界のリーディングカンパニーとして さらなる事業の拡大を目指してまいります。

「Q」 翻訳業界を取り巻く現況と、 第26期の業績は？

「A」 昨年の東日本大震災や欧州の債務危機の影響により、日本経済は依然として先行きの不透明な状態が続いています。そして厳しい状況であるからこそ、多くの企業が、国内市場だけでなく海外に販路を求め、積極的なグローバル展開を進めています。

これらの状況のなかで翻訳需要は堅調に推移しており、当社グループは第26期（2012年3月期）において、売上高5,536百万円（前期比16.3%増）、営業利益440百万円（前期比57.3%増）、経常利益439百万円（前期比62.7%増）、当期純利益227百万円（前期比63.0%増）となり、売上利益ともに過去最高額と2桁台の増収・増益を達成いたしました。

増収の要因としては、工業分野、なかでも、自動車・部品メーカーの大幅な受注増に加えて医薬および特許分野も堅調に推移したことが、また、増益の要因としては売上高増に伴う利益向上に加え、経費コントロールが奏効したことが挙げられます。

「Q」 第27期の目標と、 達成のための取り組みは？

「A」 第27期において、売上高は60億円を、利益は売上の伸びを上回る2桁台の増益を目標に、さらなる営業力の強化と着実なシェアアップ、翻訳サービスの高付加価値化と周辺業務の強化を図ってまいります。

具体的な取り組みとして、今年の4月に「ローカライゼーション推進部」を新設いたしました。ローカライゼーションとは、現地の文化や様式に合わせて商品や製品を現地化していくことで、海外での事業展開には欠かすことのできない考え方です。約2,000億円といわれる日本国内の翻訳市場では、ソフトウェアなどIT関連製品のローカライゼーション／マニュアル翻訳業務が市場全体の約3割の約600億円を占めているといわれています。当社グループでは今後、このローカライゼーション／マニュアル翻訳への対応を強化することで、新たなシェア獲得を目指します。

また、同じ時期に「品質管理推進部」を設置。顧客ニーズに対

応した品質マネジメントシステムを構築し、さらなる翻訳品質の向上と業務効率化を進めてまいります。また、当社グループが開発した「HC TraTool」などの翻訳支援ツールについても、今後さらに活用の幅を広げ、収益拡大を目指していく所存です。

「Q」 今後の中長期的な成長戦略と、 市場動向の予測は？

「A」 日本語と英語・中国語の翻訳需要に加えて日本語からヨーロッパ言語、アジア言語などへの翻訳需要も年々増加しております。また、日本政府は「クール・ジャパン」戦略という日本文化を世界に積極的に発信していくための施策を打ち出しています。マンガやアニメなどのメディアコンテンツ類をはじめ、産業以外の分野での翻訳の需要も、今後ますます増えていくのではないのでしょうか。特に、携帯やスマートフォンを使ったゲームコンテンツ関連でも新たな取引がスタートしており、需要は拡大しています。

当社グループでは増加する需要に対応するために、営業・制作体制のさらなる強化を図り、業界のリーディングカンパニーとして、さらなる成長を目指していきます。

「Q」 株主の皆様へ、メッセージを お願いします。

「A」 従来、海外への事業展開は大企業を中心に展開していましたが、日本国内の市場が縮小傾向にある今、さまざまな企業が新たな販路を求めて海外進出を進めています。

当社グループは、顧客や市場の求めるニーズをきめ細やかに把握し、顧客のご要望に応じた翻訳サービスを提供することにより、顧客の企業価値や競争力向上に貢献し、業績向上を目指してまいります。

なお、第26期の株主配当は500円増配の4,500円といたしました。今後も業績に応じた安定継続的な増配を目標にしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループ事業および企業理念をご理解いただき、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

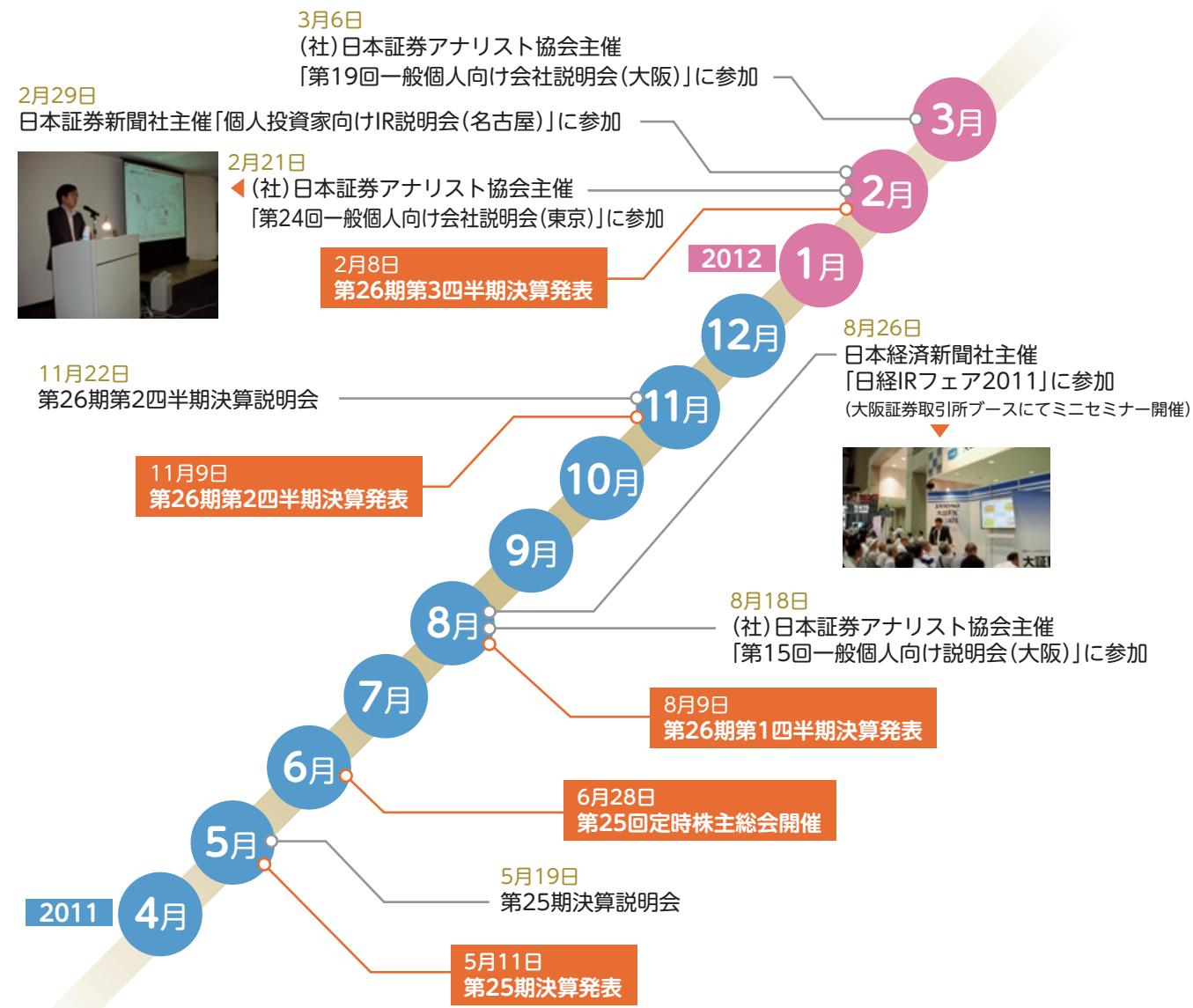




グループシナジーを活かして、顧客ニーズにきめ細やかに対応しております。



2011年度の翻訳センターの主なIR活動をご報告します。





連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2012.3.31現在	前期 2011.3.31現在	科目	当期 2012.3.31現在	前期 2011.3.31現在
資産の部			負債の部		
流動資産	3,058,665	2,708,638	流動負債	975,114	858,214
固定資産	372,916	411,222	固定負債	152,231	140,954
有形固定資産	48,712	30,685	負債の部合計	1,127,345	999,169
無形固定資産	120,498	147,632	純資産の部		
投資その他の資産	203,705	232,904	株主資本	2,312,482	2,127,012
資産の部合計	3,431,582	3,119,860	資本金	588,443	588,443
			資本剰余金	478,823	478,823
			利益剰余金	1,245,216	1,059,746
			その他の包括利益累計額	△ 10,968	△ 6,321
			その他有価証券評価差額金	△ 1,044	△ 1,017
			為替換算調整勘定	△ 9,923	△ 5,304
			少数株主持分	2,721	—
			純資産の部合計	2,304,236	2,120,691
			負債・純資産の部合計	3,431,582	3,119,860

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 中国の子会社である北京東櫻花翻訳有限公司については、重要性が増したため、当連結会計年度末において新たに連結の範囲に含めることとなりました。

連結貸借対照表のポイント

① 資産の部 (総資産)

前連結会計年度末に比べ311百万円の増加となりました。これは、流動資産が350百万円増加し、固定資産が38百万円減少したことによるものであります。主な要因としては、流動資産については、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加したことによるもので、固定資産については、連結範囲の変動により投資有価証券が減少したことによるものであります。

② 負債の部

前連結会計年度末に比べ128百万円の増加となりました。主な要因としては、買掛金、未払金及び未払法人税等が増加したことにより、流動負債が119百万円増加したことによるものであります。

連結損益計算書のポイント

連結会計年度の業績は、売上高(前期比16.3%増)、営業利益(前期比57.3%増)、経常利益(前期比62.7%増)、当期純利益(前期比63.0%増)となり、売上高・利益ともに過去最高額を達成いたしました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2011.4.1~2012.3.31	前期 2010.4.1~2011.3.31
売上高	5,536,856	4,756,866
売上原価	3,115,359	2,701,264
売上総利益	2,421,497	2,055,601
販売費及び一般管理費	1,981,287	1,775,843
営業利益	440,209	279,758
営業外収益	2,598	1,973
営業外費用	3,040	11,504
経常利益	439,768	270,227
特別利益	—	260
特別損失	724	5,568
税金等調整前当期純利益	439,044	264,919
法人税、住民税及び事業税	210,006	158,588
法人税等調整額	1,245	△ 33,391
少数株主損益調整前当期純利益	227,792	139,722
当期純利益	227,792	139,722

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2011.4.1~2012.3.31	前期 2010.4.1~2011.3.31
営業活動による キャッシュ・フロー	235,737	359,935
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 48,519	△ 251,674
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 67,380	319,201
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1,120	△ 365
現金及び現金同等物の 増加額	118,716	427,097
現金及び現金同等物の 期首残高	1,489,283	1,062,186
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	33,900	—
現金及び現金同等物の 期末残高	1,641,900	1,489,283

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当期 (2011.4.1~2012.3.31)

(単位:千円)

	株主資本			株主資本 合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
2011年4月1日 残高	588,443	478,823	1,059,746	2,127,012	△ 1,017	△ 5,304	△ 6,321	—	2,120,691
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 67,380	△ 67,380					△ 67,380
当期純利益			227,792	227,792					227,792
連結範囲の変動			25,057	25,057					25,057
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					△ 27	△ 4,619	△ 4,646	2,721	△ 1,925
連結会計年度中の変動額合計	—	—	185,469	185,469	△ 27	△ 4,619	△ 4,646	2,721	183,544
2012年3月31日 残高	588,443	478,823	1,245,216	2,312,482	△ 1,044	△ 9,923	△ 10,968	2,721	2,304,236

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

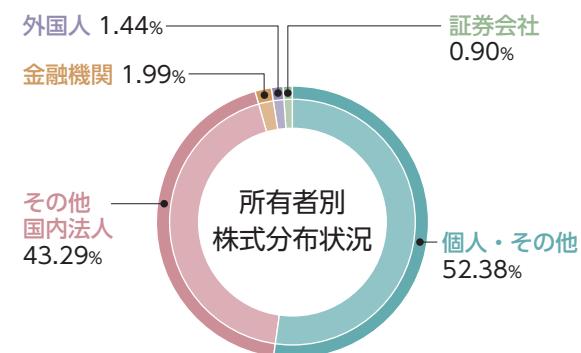


株式の状況 (2012.3.31現在)

- 発行可能株式総数 51,400株
- 発行済株式総数 16,845株 (自己株式はありません)
- 株主数 1,474名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)
株式会社 ウィザス	3,560
エムスリー株式会社	3,450
東 郁 男	732
池 亀 秀 雄	518
重 田 康 光	513
浅 見 和 宏	436
翻訳センター従業員持株会	377
角 田 輝 久	276
二 宮 俊 一 郎	251
磯 野 由 美 子	241

● 株式分布状況



会社概要 (2012.3.31現在)

- 商 号 株式会社 翻訳センター
- 設 立 1986年4月
- 代 表 者 東 郁男
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号 伊藤忠ビル13階(2012.5.7より)
- 資 本 金 5億8,844万3,000円
- 従 業 員 254名(連結)
- 事 業 内 容 翻訳サービス業
- 関 係 会 社 株式会社国際事務センター
HC Language Solutions, Inc.
北京東櫻花翻訳有限公司
株式会社HCランゲージキャリア
株式会社外国出願支援サービス

役員 (2012.6.27現在)

代表取締役社長	東 郁 男
取 締 役	二 宮 俊 一 郎
取 締 役	浅 見 和 宏
取 締 役	中 本 宏
取 締 役	楠 見 賢 二
常 勤 監 査 役	妙 中 厚 雄
監 査 役	松 村 信 夫
監 査 役	大 西 耕 太 郎



トピックス 1

大阪本社移転に関するお知らせ

業務の拡張に伴い、大阪本社を移転し、2012年5月7日より業務を開始いたしました。今回の移転を機に、社員一同、気持ちを新たに益々業務に精進してまいります。

新本社移転先: 〒541-0056

大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号

伊藤忠ビル13階

電話番号(代表): 06-6282-5010

業 務 開 始 日: 2012年5月7日(月)



トピックス 2

「ローライゼーション推進部」ならびに「品質管理推進部」を新設

■ ローライゼーション推進部の新設について

ローライゼーション/マニュアル翻訳は日本国内の翻訳市場の約3割(600億円)を占める市場でありながら、従来当社が十分に開拓できていなかった市場であります。この市場に進出するために、子会社設立による事業化を視野にいたした上、2010年10月にプロジェクトチームを設置し、制作体制の強化とノウハウの蓄積に努めてまいりました。

その結果、ローライゼーション事業に本格進出するのに十分な人員・設備とノウハウが蓄積できたことから、

2012年4月1日付で「ローライゼーション推進部」を新設することとなりました。今後は、ローライゼーション/マニュアル翻訳市場に本格進出し、既存事業との連携によってさらなる事業拡大を目指します。

■ 品質管理推進部の新設について

顧客ニーズに対応した品質マネジメントシステムを構築し、さらなる翻訳品質の安定と向上、業務効率化の推進を図るため、2012年4月1日付で品質管理推進部を新設することとなりました。